



新学部長に瀬見 博教授が決定

11月7日に開催された第845回商学部教授会で瀬見 博教授（57歳、経営学専攻）が次期学部長に選出されました。



瀬見教授は、74年に本学商学部を卒業、79年には同大学院商学研究科博士課程後期課程を満期退学。博士（商学）。79年関西学院大学商学部専任講師に就任し、89年同教授。学部では「マネジメント・サイエンス」を担当、大学院では商学研究科博士課程後期課程指導教授も務められています。研究業績では、『目標計画法の研究』など著書・論文は多数に上り、学会活動では日本経営数学会（監事）、経営関連学会協議会（評議員）などで幅広く活動を展開されています。

体育会ラグビー部部長を務め、夏合宿やリーグ戦の応援にも積極的に参加。部員のみならずゼミ生にも"one for all, all for one"の精神で接しておられます。

任期は2008年4月から2010年3月まで。

学術講演会報告

12月11日第4時限に、日産自動車株式会社マーケティング部マーケティング・ダイレクターの加治 慶光（かじ・よしみつ）氏を招き、商学部学術講演会を開催しました。テーマは、「『NISSAN GT-R』誕生の軌跡とスカイラインイヤー統合マーケティング」。

1957年、プリンス自動車工業の主力車種として誕生したスカイラインは、日産自動車との合併後も引き継がれ、時には「ハコスカ」「ケンメリ」「ジャパン」などと愛称されながら支持されてきました。特に、1969年にサーキットでの使

用を主眼として開発された「GT-R」は、「日本グランプリ」ほか数々の大会で圧倒的成績を納め、モータースポーツファンの間では伝説として現代に語り継がれています。

その GT-R が、12月に日産の技術の粋を集めた全く新しいスーパーカーとして誕生しましたが、講演では約350名の参加者に、発売に至るまでに仕掛けられたコミュニケーション戦略、「スカイライン」ブランド全体の統合マーケティングなどについて語られました。

卒業論文の締め切り迫る!

2008年1月9日(水)に今年度の卒業論文の提出が締め切られます。卒業論文は研究演習で2年間研究に打ち込んできたことの集大成であるとともに、4年間学んできたことの証です。1、2、3年生の学生の皆さんも、毎年この時期に提出の締め切りがあることに注意して、日々の研究に励みましょう!

2008年度ゼミ（研究演習）所属の確定

2年生を中心にして、秋学期の開始と同時に始まりました2008年度のゼミ所属が確定しました。商学部では、第3学年に「研究演習Ⅰ」、第4学年に「研究演習Ⅱ」が履修できます。ゼミは、専門分野の先生と膝を突きあわせ、また同じ勉学意識をもった仲間たちと大いに議論できる場です。ゼミの先生や仲間たちとの語らいの中で、将来の夢を明らかにし、その実現に向けて取り組みましょう。1年生の皆さんは、今のうちに沢山の授業に出席して様々な学問分野を知り、多くの担当教員がいることを把握しておきましょう。

目指せエコキャンパス! キャンドルナイト

12月5日(水)～7日(金)に開催されたキャンドルナイトでは、「電気を消して、スローな夜を」を楽しんでいただけましたでしょうか?各商学演習のキャンドルナイト学生実行委員の皆さんはじめ、たくさんの方々にご協力いただき、ありがとうございました。キャンドルナイトの様子は、12月7日の読売新聞朝刊(阪神版)でも紹介されました。これをきっかけに環境問題にもっと目を向けてもらえればうれしいです。



環境にやさしい関学内の設備を知ってください

実は関学では、みなさんご存知のデポジット容器のお弁当販売(容器を返却すれば10円返金される)によるリサイクル推進のほか、ソーラーパネルの設置(学生会館新館、本部棟新館)による省エネ、トイレの音姫の設置による節水、氷蓄熱システム(関学会館)による節電、インバータ照明器具(図書館等)による節電など、いろいろな取り組みが行われています。でもあまり知られていないのが残念。みなさん、環境配慮をさがしながら関学内を歩いてみる「エコツアー」を楽しんでみてはいかがでしょうか?



Business Wings 発刊迫る!

商学部では毎年卒業式にあわせて3月に Business Wings という機関誌を発行しています。この雑誌の記事の収集などは主にゼミから選出された Business Wings 編集委員の学生の皆さんが行っており、「学生の学生による学生のための雑誌」です。この雑誌にはその年度の卒業論文のすべてのタイトル一覧と、各ゼミから選出された優秀論文の要旨が掲載されます。また、その年度に開催された学術講演会の要旨やさまざまな分野で活躍されている学生の皆さんや卒業生の方々からの寄稿や、教員全員の顔写真とメッセージなども掲載されており話題も豊富です。是非ご一読ください。



新任教員紹介

山本 俊正(やまもと・としまさ)氏

「キリスト教学」担当 教授・宗教主事

1977年立教大学法学部法律学科卒業、88年米国パークレー太平洋神学校 (Pacific School of Religion) 修了。(神学修士)。

米国ハワイ州ハリス合同メソジスト教会副牧師、日本キリスト教協議会国際担当幹事、同総幹事等を経て、現在、日本基督教団ロゴス教会主任牧師。

主な社会活動歴として、NGO人道支援連絡会員、地雷廃絶日本キャンペーン世話役、キリスト者平和ネット運営委員、「宗教者9条の和」代表世話人、朝鮮半島の平和構築と社会開発支援エキュメニカルコンソーシアム(キリスト教連合体)運営委員などを務めている。

著書に、『紙との冒険—ラクーア自伝』(訳書)、『地球のみんなと生きる』(共著)などがある。

就任は、2008年4月1日。

教員の著書・出版

石原 武政 教授

著書『「論理的」思考のすすめ』(有斐閣)

定価1,700円プラス税、2007年11月20日付け出版

退職教員より



柿原正郎 准教授

これまで5年間お世話になってきた関学商学部を、この3月で退職することになりました。あっという間の5年間でしたが、最初からずっと変わらず、学生の皆さんにはいつも元気と刺激と勇気もらい続けてきました。関学生時代はどちらかといえば不真面目な学生で、卒業後は普通にサラリーマンをやってきた私がある日突然大学で教える立場となり、右も左も分からぬまま不安を抱えながらも、皆さんに支えられてなんとか走り抜けられた5年間だったように思います。

もうすぐ関学で二度目の卒業を迎えることとなります。4月からは東京に移り、再びサラリーマンに戻ります。今回、大好きなインターネットビジネスの世界に身を投じる決心ができたのも、若い皆さんに元気づけられ、刺激を受け、勇気もらったからこそです。今後しばらくは実務の世界で皆さんと一緒にがんばっていきたいと思います。5年間ありがとうございました。



教員紹介



則定 隆男 教授

国際ビジネスをコミュニケーションや文化の面から分析することを研究テーマとしています。最近では社内共通語を英語とすることのメリット、デメリットを中心として研究しており、来年の4月から9月まで非英語圏の調査のためにオランダに滞在します。

また、国際に限らず、日頃から、ビジネスをコトバの面から分析しており、学生にもそうしてもらいたいと思っています。最近の食品偽装事件もコトバに対する信頼に関わる問題です。

ビジネスとコトバをテーマにした肩の凝らない本を来年出版するつもりですので、ぜひ読んでもらいたいです。



禪野 美帆 准教授

私はメキシコを対象に文化人類学的研究を行っています。お金や物の流れも非常に文化的問題です。例えばお歳暮やお中元。これは単に物が行き来しているのではなく、「あの地位の人に、あのデパートの包み紙で、あの値段の、あれを送ろう」と考えをめぐらせて、やっと内容が決定されます。ヒトにしかできない意味の交換です。この意味が、お金と物を動かしていると言ってもいいのではないのでしょうか。メキシコでは、私たちには想像のつかないことにお金や時間を費やすことがあります。しかしメキシコの人々から見れば、なぜ日本では同じ商品を違うデパートから贈ると意味が変わってくるのか、かなり不可思議なことでしょう。

